

(別紙2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 24年 1月 12日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4270103551		
法人名	株式会社 アイ・エル・エス		
事業所名	グループホーム ベルハウス東山手		
所在地	〒850-0911 長崎市東山手町6番16号		
自己評価作成日	平成23年12月11日	評価結果市町受理日	平成24年1月30日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構
所在地	〒855-801 長崎県島原市高島2丁目7217 島原商工会議所1階
訪問調査日	平成24年1月6日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「心をつにし信頼関係を大切にします」「生活の中に生きがいを見つける事ができる様支援します」という理念のもと、利用者様の希望やペースを尊重し支援に取り組んでいます。また、馴染みの関係を大切にしたいという方針に基づき職員との信頼関係を築くよう努めています。利用者様が安心して生活できる場であるようにと日々の買い物や外出にも対応できるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

当ホームは、代表者の方針に沿って理念「一、心をひとつにし、信頼関係を大切にします
一、生活の中に生きがいを見つける事ができるよう支援します」に基づいたケアに、管理者及び職員のチームワークをもって、日々支援に努められている。ホームの階段は筋力低下の予防に繋がり、観光地の立地を生かした観光客との挨拶や道案内の他、催し物への参加で外出支援を多く取り組み、利用者の生き生きとした生活となるように努められている。職員が交替で行事担当を担い、地域で催しが無い折には利用者にも手伝って頂き、ホーム内での運動会・ベルハウスくunch等を工夫して、理念に沿った取り組みを実践されており、行事の様子を廊下に掲示された写真で、利用者が笑顔で楽しく生き生きとした生活の様子が窺える。

また、家族も訪問時に見られることで、明るい表情に安心を得られ、職員は、今後更に信頼関係の構築に努め、研修を重ねてサービスの質の向上に努められている。

1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「心を一にし信頼関係を大切にします」「生活の中に生きがいを見つける事ができる様支援します」という運営理念を朝の申し送り時に管理者と職員は声に出して唱和し、確認・共有を図り、実践につなげている。	利用者の趣味や希望に沿った支援に繋がられる様に、日々理念を唱和することで意識付けを確立して、実践に努められている。	利用者と共に日々地域に密着した支援を実践されている。更に、意識を高めるうえで職員相互に話し合い、理念の見直しを期待したい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りや防災訓練に利用者と一緒に参加するなどして地域との交流に努めている。また、普段より観光地でもあるホーム前の石畳の道を地域の方と一緒に清掃活動している。	慣れ親しんだ地域の市場での買い物や馴染みの公園へ将棋見学の散歩又、学生の介護実習・職場介護体験学習の受け入れも取り組まれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	今後の人材育成の貢献として実習生の受け入れを行っている。		
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では現況報告や取組みを報告すると共に色々な関係の参加メンバーから意見や要望をいただき、サービスの向上に活かしている。	会議は2ヶ月を目途に開催され、参加者から双方向の意見が得られ、ケアに反映されている。今後も多方面の方々の参加も考慮されている。	
5	4	市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町担当者に対し、相談という形で連絡を取り合っている。	利用者の権利擁護及び生活保護に関して、協力関係をもって利用者の最善の立場を尊重して、相互の連携で取り組まれている。	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束を行わないという事を全ての職員が理解しており、実践している。</p>	<p>玄関の施錠はされていない。利用者は落ち着かれている状況なので、日々見守り、拘束のないケアを実践されている。研修も積極的に受講されている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>虐待はあってはならないことと職員全てが受け止めており、ミーティングの場で話し合っている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>対応が必要な利用者がある度に職員へ説明を行っている。また、利用者の支援にもつなげている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>説明を行い、納得した上で署名捺印をお願いしている。また、不安や疑問にも答え、理解・納得した上で同意を得ている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>普段より苦情や不満などが話せる環境が出来ており、その都度速やかに対応している。</p>	<p>家族の訪問時、利用者の状況の報告をして、家族と信頼関係の構築に努められている。家族の要望・希望をケアに反映して、外出の機会を多く支援されている。</p>	
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回のミーティングで意見を聞くだけでなく、日頃から職員一人ひとりと話をする機会を作っている。</p>	<p>職員の意見を反映して、勤務時間の変更を実践されている。代表者・管理者・職員相互の話し合いで、意見を改善につなげ連携を大切にされている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>代表者は頻繁に現場を訪れ、職員の職能を評価している。また、各々が働きやすい環境を整えている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修への参加やホーム内の勉強会に参加できる機会を設けている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>県のグループホーム連絡協議会の所属し、研修会などで他事業所との意見交換を通じてサービスの質の向上を目指している。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前に必ず免田を行い、本人の状況を把握すると共に関係作りを始めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>相談や見学の時点で困っている事、不安な事など家族状況を十分に聴き、受け止める努力をしている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>相談を受けた際に本人や家族の思いを聴き、必要なサービスが他にあれば居宅や地域包括支援センターにつなげている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>男性利用者には大工仕事や植木の手入れ、女性利用者には料理や裁縫など多くの事を教わりながら、お互いに支え合い日々の生活を過ごしている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族の来訪時に情報交換を行い、本人を支えていくためにはどうしたら良いかを一緒に考えるようにしている。また、電話などでのやり取りで情報交換を行っている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの公園に将棋を見に行ったり、教会にお祈りに出かけたりしている。また、お墓参りに出掛けたり、馴染みの方を訪ねたり来て頂いたりしている。</p>	<p>慣れ親しんだ市場へ買い物に出かけて、馴染みの方との会話を楽しんでいる。外泊の機会に、家族・親戚との馴染みの関係継続も支援されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>利用者の仲の良し悪しを見極め、職員が間に入り会話の調整や雰囲気作りに努めている。また、利用者同士の支え合いの場面では、職員は側で見守るようにしている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>現時点での契約終了の方は、内科的病状の悪化により入院となったため遊びに来ていただけの状態ではないが、電話などでのやり取りを続けている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>普段の会話の中から本人の思いを把握したり、言葉の出来ない思いを表情から感じ取るため、小さな事も見逃さないようにしている。</p>	<p>利用者の飲酒や食の楽しみを日常の関わりの中で聞き取られている。満足されている利用者の表情に、職員も喜びとして支援されている。</p>	

24	<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用前から本人や家族から聞き取りを行い、利用されてる際も本人や他の家族、友人等の話から少しずつ把握していくように努めている。</p>		
25	<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>一人ひとりの生活のリズムを把握した上で、その日その時の状態に応じた支援が出来るよう努めている。</p>		
26	10 <p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人、家族の意見を聞きながら、ケアマネージャーと職員が話し合いの場を持っている。医療面では協力医の意見を聞くこともある。</p>	<p>利用者の状況を踏まえて、家族・職員の意見を考慮して作成されている。介護計画に沿った支援を記録に基づき、3ヶ月を目途に評価して次の計画に繋がられている。</p>	
27	<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人の記録に1日の身体状況、精神状況を記入している。また、個別記録を介護計画のモニタリングに活かしている。</p>		
28	<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>通院や緊急時の病院受診など、家族が対応できない状況にある場合は、臨機応変に対応し、支援している。</p>		
29	<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>利用者が地域の中で安心した暮らしを続けられるよう、警察や消防、民生委員などと意見交換する機会を設けている。</p>		
30	11 <p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>かかりつけ医への受診や通院を希望される場合は、家族と十分に話し合い支援している。また協力医療機関により、隔週の往診・緊急時の往診を行っている。</p>	<p>家族の同意のもと、かかりつけ医との24時間連絡体制と往診にて、利用者の健康維持に努められている。</p>	

31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>協力医療機関の看護職員と日頃から相談しやすい関係を作り、医療面での助言をもらっている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は病院関係者との連絡を密に取り、必要な情報を提供している。また、早期退院に向け職員が見舞い、家族を話し合いを行っている。</p>		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医の判断により医療処置・行為を必要とし、ターミナルケアと判断された場合、グループホームでの介護が出来ないことを入所時に説明する。また、そうなった場合、病院への入院、退所となることを理解してもらうようにしている。</p>	<p>利用開始時に、重度化や終末期における方針を説明して、家族も理解の上で利用を開始されている。また、利用者の状況に応じて、主治医の判断で医療機関へと繋がれている。</p>	
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>実技勉強会を実施し、実際の場に対応できるようにしている。人手が少ない夜間は、緊急時すぐに駆けつけられる職員が近くにいる。</p>		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防署による火災訓練指導を受けている。地域住民の方々や近隣地域の方々にも協力をお願いしている。</p>	<p>地域消防団との合同の訓練や消防署立会いの昼・夜間を想定した訓練も実施されている。緊急時利用者カードを作成され、備蓄も整えられている。</p>	

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの言葉掛け、対応には十分に留意し、個人情報の取り扱いについてもプライバシー確保に努めている。	利用者の人柄を尊重して、馴れ合いにならない関わりに努められている。言葉掛けは周囲の方への配慮も心掛けられている。また、個人情報について家族の同意も得られている	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員が何事も決めてしまうのではなく、本人の意見や希望を聞き、選べるようにしている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の決まり事はあるが、本人がしたい事を思っている時は管理者を含め職員同士で話し合い、実現につなげている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	普段よりその人らしいおしゃれや身だしなみを気掛け、また外出や行事など特別なおしゃれが出来るような機会も作っている。本人の希望により理・美容室への送迎も行っている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の好みを聞いたり、食材選びに行きながらその日のメニューを決めている。食事の準備に参加していない利用者にも、味見をしてもらうなどの対応をしている。	献立は決められていない。その日の市場へ買い物に出かけて、旬の素材等購入して決められている。利用者も片付け等できることで参加されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事、水分の摂取状況を毎日記録している。栄養士の指導の下に栄養のバランスを考慮し、一人ひとりの状態に合わせた食事の工夫をしている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、利用者一人ひとりに合わせた口腔ケアを行っている。口腔ケアの重要性を理解し、歯を磨くだけにとどまらず、歯茎のケアも心掛けている。		

43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>排泄チェック表を作成し、利用者一人ひとりの排泄パターンを把握した上で自立に向けたサポートをしている。また、誘導の際は周囲に気を配り、さりげない声掛けをしている。</p>	<p>利用者の動作を見逃さず、排泄の自立に繋がるような誘導を心掛けられている。布パンツで、気持ちよく過ごして頂ける様に努められている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>散歩やラジオ体操などの適度な運動をする機会を設け、また出来る限り自然排便が出来るよう水分摂取や食材の工夫をしている。ただ、入居前から下剤を服用し続けている方は、医師に薬の種類や使用量、頻度を検討してもらい、服用するようにしている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>入浴の際は会話を楽しめるコミュニケーションの場としている。入浴を拒否される方には無理強いせず、なぜ入りたくないのかを探り、本人が入りたいと思うまで待つようにしている。</p>	<p>週2・3回を目途に、入浴の支援をされている。利用者の状況に沿って、職員は気持ち良く入浴して頂ける様な、声かけの工夫等考慮されている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中は活動的に過ごせるように努め、一人ひとりのその日の状態に応じた支援を心掛けている。眠れない方がいる時は、温かい飲み物を飲みながら話をし、安心できるよう支援している。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>処方箋をファイルし、職員が薬の目的や副作用、用法、用量を把握できるようにしている。また、服薬チェック表を作成しており、本人に薬を手渡し、飲んだことを確認した職員が記名するようにしている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>料理や裁縫、花の手入れなど本人が楽しみを持って出来ることをお願いしている。また、本人が望むことが叶えられるよう家族と協力し合っている。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけるように支援している</p>	<p>天気の良い日は本人の希望に合わせて散歩や買い物、ドライブなどに出掛けている。一人ひとりの生活歴や習慣に応じて、馴染みの場所に出掛けることもある。また、本人が行きたいと思う場所への外出は家族や友人などをお願いしたり、協力が得られない時には職員で話し合い、実現できるようにしている。</p>	<p>観光地の利点を活かして、催し物や利用者一人ひとりの希望に沿った、外出の機会を多く支援されている。馴染みの市場や喫茶店等で楽しまれている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>本人及び家族と話し合い対応している。希望によりホームで金銭を預かっている場合でも、買い物の際に本人が払うようにしたり、小額程度の金銭を持っている場合もある。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>毎年、家族や友人宛に年賀状や暑中見舞いなどを出せるよう支援している。電話の支援については家族と事前に話し合い、個別の対応をしている。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>穏やかに暮らせるよう、一人ひとりの状態に応じた配慮を行っている。また、玄関やリビングに季節の花を飾ったり、目に入る場所に和歌を貼ったりしている。</p>	<p>利用者と職員の関わりが明るく和やかである。ベンチを設けたり、観葉植物や利用者の作品を掲示して、温かい雰囲気作りをされている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>仲の良い利用者同士、一緒にリビングのソファに座り会話を楽しんだり、ホーム前のベンチで自由な時間を過ごしている。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染みの物や思い出の物を持ち込み、安心して暮らせる環境を作っている。	利用者・家族の希望に沿って、畳を敷き落ちて過ごせる様な工夫をされている。家族の写真や必要な品物の持込で「我が家」への配慮をされている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	必要な場所に手すりを設置するなど、利用者の状態に応じて出来る限りの工夫をしている。全てをフラットにするのではなく敷居等を活かし、身体機能の維持に努めている。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない